

農業経済学特論Ⅰ (2単位)

担当者氏名 寺内光宏

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

「農業経済学特論」の学習目標は、社会科学的な観点から「農業」に関する諸現象を明らかにしていくことである。そうした諸現象を明らかにしていくために、理論的な枠組みが、必要不可欠となる。「農業経済学特論Ⅰ」においては、そうした理論的枠組みとして一般的に「ミクロ経済学 (micro-economics)」と呼ばれるものを学習する。ミクロ経済学 (micro-economics) とは、微視的経済学と訳される。個別的な家計や企業の経済行動の分析から始まって、全体的としての市場および経済の分析に至る経済学の領域。M. E. L. ワルラスの一般均衡理論がその典型である。個別的経済主体の観点からは、市場価格が重要な行動指針であり、価格分析が最重要の課題となる。本授業においては、「ミクロ経済学」における「消費の理論」「生産の理論」を中心に学習を行う。到達目標は、「ミクロ経済学」の基礎的理論の修得である。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

市場機構 消費者行動の理論 企業行動の理論 完全競争市場

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	論理と方法	ミクロ経済学の論理と方法	毎回配布するプリントを利用し2時間程度予習するとともに、授業後、参考文献等を利用し2時間程度復習すること。
2	市場機構 (1)	市場均衡の分析、需要の弾力性、供給の弾力性	
3	市場機構 (2)	与件の変化と均衡	
4	消費者行動の理論 (1)	消費者と需要、消費者・家計の定義、無差別曲線	
5	消費者行動の理論 (2)	需要の決定、消費者行動と需要曲線	
6	消費者行動の理論 (3)	与件の変化と需要、無差別曲線の形状と需要	
7	消費者行動の理論 (4)	消費者需要理論の応用と拡張、顕示選好理論	
8	企業行動の理論 (1)	企業行動と生産関数、生産関数の形状	
9	企業行動の理論 (2)	利潤最大化の条件、短期の利潤最大化	
10	企業行動の理論 (3)	要素価格の変化と長期利潤最大化	
11	企業行動の理論 (4)	企業行動と費用曲線、費用曲線の定義	
12	完全競争市場 (1)	短期の利潤最大化と供給曲線、短期の市場供給曲線	
13	完全競争市場 (2)	与件の変化と短期費用曲線	
14	完全競争市場 (3)	規模に関する収穫と長期費用曲線	
15	完全競争市場 (4)	産業の長期均衡、市場の長期供給曲線	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

配布プリント

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

ミクロ経済学入門 (第2版) / 西村和雄 / 岩波書店 (2005)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

第15回授業終了時に「試験」を実施して評価 (100%) を行う。

◆オフィスアワー

次の日時・時間帯において研究室で質問等を受け付ける。①月曜日・水曜日; 16:30~18:00、②火曜日: 14:50

～16:10、③金曜日:12:20～14:30。

◆その他受講上の注意事項

論理的思考能力の涵養に努めるという態度で授業に参加して欲しい。
